

## ユリシリーズ第15挿話メモ

211226 むしろかずや

“108”はユリシリーズ三巻/丸谷訳集英社文庫版のページ数を示す

“9.27”はユリシリーズ/丸谷訳集英社文庫版の第9挿話27頁を意味する

### ①娼婦街を歩くスティーブン

108 シシー・キャフリー

→なぜ第13挿話のガーディの友人シシー・キャフリーが娼婦街にいるのか、そしてなぜモリーを知っているのか？

109 兵隊カーと兵隊コンプトン、外出杖

→スティーブんと2人の兵隊はここで一度すれ違う

110 客引き女。後にブルームが同じ勧誘を受けるがこれはブルームが同じ道を来たことを示唆

111 イーディ・ボードマン→シシーとともに娼婦街に現れる

112 トネリコの杖でランプの映像を粉々に砕き

→ガス灯を杖で打つ、後半のシャンデリアを砕く描写に対応

113 身振りが最初の言語。エンテレケイア＝伝えると言うことが言語の本質

→形相の形相9.27。言語の変容。→ポルノ的言語神学

115 焔を吹く火壺 壺、双子（第13挿話）は闇の中に逃げ去る

→炎はまるで幻想に誘うように

### ②スティーブンを追うブルームと彼の裁判

116 凹面鏡；映る恋にやつれたブルーフォーム、ブルームと向かい合うブルーム、凸面鏡；のんきなポールディひょっとこドルディ

→実像と虚像。上下方向。鏡に映るブルームの多面性を象徴すると同時に角度によって異なる＝視差

116 左右の手にある包み。生温かい豚の腿肉とひつじの脚肉

→後にスティーブんに食べさせるためと判明

117 やつの家が燃えているかも＝ボイランの家

117 ロンドン橋落ちる 童謡 火事

119 列車に轢かれそうになるブルーム。

運転手から『ハットトリックでもやらかすつもりかよ』と怒鳴られる

120 あの女と馬のいるところを邪魔したやつか

→重い電車が割って入った5.185→同じ運転手か？

→ひしゃげた鼻13.119と獅子鼻5.185

- 鼻の形状から多分違う運転手。ブルームから運転手の鼻は見えなかったか？
- 120 死んだママのお守り＝じゃがいも  
→ブルームはじゃがいもを常に持ち歩く 4.143。リューマチに効くとのこと
- 121 人影、ゲール語→『市民』の差し金
- 122 クズ拾い
- 123 トミー・キャフリーに追われてきたジャッキー・キャフリーがブルームにぶつかる→第13挿話の双子のこどもがなぜここに？
- 123 時計隠し、札入れポケット、財布、罪の甘い飲み、じゃがいも、石鹸を確認＝スリに合っていないか
- 124 レトリーヴァー犬がブルームに近付く
- 124 ルドルフ＝ブルームの自殺した父の登場  
→なぜここでブルームの父母がでてきたか？  
＝ブルームの父と息子ルーディは同じ名：自殺した父と11日で死んだ息子  
→ルドルフという名には死がつきまとう
- 127 エレン・ブルーム：みんなしてこの子を酷い目に遭わせるなんて、マリア様の聖心にかけて聞くけどお前はどこに行ってたの？  
→娼家に向かうブルームの後ろめたさが両親を出現させたか。
- 128 ポールディー！＝モリーの声
- 128 トルコ風の衣装をきた大柄の美女、大きな黒い目と黒いつややかな髪  
＝モリー→後にスティーブンの夢にも登場したことが明らかに
- 130 頭を垂れ跪くブルーム
- 130 モリーの前にマゾヒズムになるブルーム＝倒錯したブルームの願望
- 131 石鹸が話し始める＝ブルームと1日を共にした相棒  
→石鹸5.211：風呂での自慰用に購入
- 132 テリア犬がくんくん鼻を鳴らして彼を追う
- 133 客引き女→スティーブンと同じ道を来たことを示唆
- 133 ブライディ・ケリー→ブルームの初めての相手。初モノ
- 134 ガーティに罵られるブルームと彼女の言い間違い  
＝これこそが彼女の本当の語彙力  
→チャイルズおじさんの原理により作者により文体が整えられたか  
→言い間違いよりマーサはガーティかも5.193
- 136 ミセス・グリーン→貴方がこんな悪の巣に
- 137 黒は熱を屈折→4.144。転落した女達の救済
- 139 ミセス・グリーンを誘惑するブルーム
- 140 アイルランドを守るため家庭と美女を守るため＝一本足の水兵10.113

- 143 ミセス・グリーンにいまの旦那と結婚したことを責めるブルーム
- 143 アルフ・バーガンの登場。アップ→やっぱりパーガンが犯人
- 144 軽い夜食→リチャー・ゲールティング11.223→パット
- 147 客引き女を交わす。テリア犬が後をつける
- 151 付きまとう犬=肉のせい
- 151 ミセス・グリーンが消えるとともに地獄門へ  
ブルームの裁判→最後の審判を連想
- 154 兵隊と土方
- 155 おれたちウェアックスフォードの若者だい→ベネットをどう思う？
- 156 2人がどこの売春宿に行ったか分からないブルーム、彼=スティーブンは金を  
すっちまうぞ→退廃的なスティーブンを気にするブルーム
- 157 モリーの車の曇りガラスへの落書き→甘い飲み、罪の飲み
- 158 犬どもは不思議に俺に懐くんだ=肉のせい？
- 158 重くなってきたのでブルームは豚肉と羊肉を捨てる  
→それに噛み付くマスティフ犬  
ブルームはなぜ豚肉と羊肉を買ったのか？  
→もともとスティーブんに食べさせるため
- 159 肉を捨てたことに伴い現行犯で逮捕されそうになるブルーム  
→俺は動物への善行をしたただけだ
- 160 ブルドッグが豚の関節肉を加える
- 161 巡査に疑われるブルーム、動物虐待  
→巡査に職質を受ける事で過去の罪に向き合い、告白を始めるブルーム  
=警官は罪のアイコン
- 162 歯科医ブルーム博士-12.172、フォント・ブルーム・パシャ  
→読者に向けたギャグ
- 163 帽子からヘンリー・フラワーのカードが落ちる  
→それを巡査が読む；面白いシーン
- 164 花のブルーム、カステールの薔薇、僕らは婚約したんだ=マーサ
- 164 マルタに扮したマーサがライオネル=レオポルドを非難する
- 166 濡れ衣；ブルーム→婚約不履行よ
- 166 マーサの本名はペギー・グリフィンで兄がラグビーチームのフルバック
- 167 陪審員に訴えるブルーム
- 169 文筆業をすると語るブルーム→マイルズ・クロフォードの登場
- 170 ボーフォイに剽窃作家と非難されるブルーム
- 172 裁判長にボーフォイからの証拠を出されるブルーム

- 173 国王がブルームを告発する
- 173 メアリ・ドリスコル＝ブルーム家の元女中
- 176 ブルームに襲われたと語るメアリ
- 179 J.J.オモロイ→法廷におけるブルームの弁護人
- 182 被告ブルームにはアゲンダット・ネタイムの土地の抵当が入ってくると語るオモロイ
- 184 最良の身元保証人をつらつらと挙げるブルーム
- 185 匿名な卑猥な手紙を送ってきたと非難されるブルーム、ポール・ド・コックの小説を→4.162 モリーはポール・ド・コック作の猥褻小説を望む
- 187 ミセス・ベリンガムに卑猥な手紙を送るブルーム。毛皮をきたビーナス、早く姦通して欲しい
- ＝ジョイスから妻ノラへのトリエステでの卑猥な手紙がヒントか**
- 188 上流夫人に対するいかがわしい手紙。そして袋叩きにあうブルーム
- 191 野良犬は打ちのめして
- 192 豚犬ブルーム→鞭で打たれる
- 193 イヴニング・テレグラフにダブリンの全寝取られ亭主の住所が載る
- 194 名前のない男→誰？→後に第12挿話の語り手である可能性が浮上
- 196 様々な罪状で起訴されるブルーム
- 197 イスカリオテのユダ
- 197 理髪師ランボールド12.309、死刑執行人。教会の鐘→死刑の合図？
- 199 豚の足＝爆弾
- 199 ビーグル犬がパディ・ディグナムの顔になる
- ブルームが自らの葬式に出席したと証人に
- 200 ディグナムの亡霊だ＝ハムレットの亡霊
- 201 ディグナムの輪廻転生
- ディグナムはナウシカアにおいて既に蝙蝠に転生済**
- 13.450、13.474、外套を着た小男13.474
- ディグナム家の戸口から男の子が～蝙蝠は鳴きながら。13.477。
- サンティマウント海岸からディグナム家は近い
- 蝙蝠となり家族を見守ったか？
- 204 くぐもり声で吠えるディグナム
- 犬がディグナムに！
- ＝犬はレトリバー犬からビーグル犬と多くの犬種を経てディグナムに至る**
- 205 ピアノの音が聞こえる
- 男の弾き方の悲しい教会音楽

→ステイブンがいる娼家はここかもしれない

### ③娼家へ、ブルームの転生

206 あの人のお父さん→2人とも喪服。ブルームはステイブンのいる娼家にたどり着くが分かる

208 ジャがいも、玉玉、家宝、ゾーイに取られる

209 東方の音楽が流れる

210 ゾーイは良い家の出か→イギリス生まれ→ヨークシャー生まれ

212 新大陸より持ち帰ったジャガイモとたばこを論ずるブルーム

212 **ダブリン市長**に転生するブルーム

214 コーク通り外れにブルーム通りができる

218 ブルーム31歳・・7年前

219 ブルーム日和

220 **ブルームの戴冠。レオポルド一世**

220 右手を辜丸に当てて誓う

221 男根を象徴する花火→第13挿話

222 前配偶者＝モリーを廃しセレネ姫を王妃に迎える

222 パーネルからも祝辞を言われるブルーム

225 黄金の都市ブルームサレムの建設

226 **マッキントッシュの男**→皇帝ブルームを非難→ブルームの自己批判性？

226 レオポルド・マッキントッシュ

→ブルームとマッキントッシュの男の同一性・融合

227 砲声と混乱

229 『市民』ブルームに祝福がありますように

231 執政官ブルームの裁き

231 ノージ・フリン 火災保険証書

233 K・十一＝第7挿話で川に落ちている広告7.377

238 犬畜生。ブルーム

239 ヴェールの巫女

241 ブルームに対する反乱

242 弟のヘンリーの中傷＝王位を狙う者、ハムレット

242 **両性具有のブルーム**、罪を犯すよりむしろ犯された側

244 **新しい女性的男性**、彼は出産をひかえているのである

245 ブルーム、ああ、早く**母親**になりたい

245 黄色と白の8人の子供＝オコネルの子の数に同じ6.268

- 247 救世主ブルーム
- 249 袋叩きにあうブルーム
- 251 アゲンダット・ネタイムより  
ポケットのアゲンダット・ネタイム→ 朝から持っている 4.151、  
時計と同じようにブルームが自分の世界に入るための手段5.186、 8.449  
=じゃがいもと同じようにブルームの世界を護るアイテム
- 251 ベリアル=悪魔にされるブルーム→中世風
- 253 密告されるブルーム
- 253 ダブリン消防隊の隊長がブルームに火をつける→火炙りの刑
- 254 メシアになるブルーム
- 254 ユリシーズにおけるブルームの1日が語られる
- 255 ブルームは縮まり炭化する

#### ④ステイブンとの再会

- 255 ゴーイのもとに返ってくるブルーム
- 257 ゴーイはヨークシャ生まれ
- 257 この宿ではショートタイム10シリング=高級宿らしい
- 258 緑色の怪物=嫉妬の擬人化→3.115七つの大罪嫉妬の怪物
- 260 ゴーイに導かれ娼家に入るブルーム  
→入口で躓きそうになる=先程までの雨の影響？
- 261 階段踊場の中二階の部屋のドアがぱっと開く。  
猿のような足つき。禿頭とヤギ髭
- 264 亡霊と小鬼どものご入来
- 264 ステイブンと自動ピアノと空虚五度の連続音
- 265 帽子を後前にかぶって座り込んだ男
- 266 リンチの帽子とステイブンとの対話
- 267 基音の回帰  
→オクターブで同じ音に戻る→離れたはずが回帰するのは次のステイブンに続く
- 268 シェイクスピア；世界の果てまでいき自分自身に出会う  
→物語では自分とはかけ離れた時空に創作が行われるがプロットが設定されるが  
実は自分自身がそれに投影されていたりする
- 269 アンチキリストー最後の心配
- 270 蓄音器ーエルサレムー世界の終わり  
→以下マナナンまではステイブンの幻想と思われる
- 274 天国行きの列車

- 276 ゴーイの姓はヒギンズ  
277 はじめに言葉あり  
278 ベスト→エグリントン→マナナーン  
279 マナナーン  
282 王室文書係でありブルームの祖父であるヴィラーグの登場→男女混合の裸体が目に付く  
284 キティを指し→あざむくまやかしの美装→視差、ポリシラボックス  
285 ゴーイ、キティ、プロリーをブルームと品評するヴィラーグ  
288 ブルームに医術を教えるヴィラーグ、錯乱恐怖症にはトリカブト＝ルドルフの死因  
290 夜の虫が光を追う。複雑な目の作り。L.B.博士の本  
291 料理に関する議論。レッドバンクの牡蠣にありつけようぞ＝8.428、12.372  
→レッドバンク食堂のボイランとすれ違う6.230&  
293 蛾。小さな虫よ。王様だったのは昔の話  
295 ヘンリー・フラワーの音楽  
295 スティーブン、ディージー爺さんに会いに行くか。深く感銘を受けました。  
296 スティーブンの音楽談義からのアルティファニーの登場ー第10挿話の音楽家10.121  
297 シャム双生児 酔いどれフィリップとしらふのフィリップの登場  
→**幻想と現実のメタフィー**  
297 三ポンド十二シリング＝スティーブンの給料と今日使ったお金を述べる。  
298 フィリップ、いつもお利口、トネリコの杖は持っているのと？もう縁を切った  
＝スティーブンの台詞の反復  
→2人のフィリップは幻想と現実のスティーブンの代弁者か  
299 ゴーイが言うには二日前に神職が来た  
301 ヴィラーグ：忌まわしきキリスト教めが＝ブルームの父は敬虔なユダヤ教徒  
301 ジミー・ピジョンに梅毒を移す  
302 誰のせい？→聖なる鳩のせい  
→ピジョン＝鳩。鳩との交配のせいで梅毒が移る  
303 三人の聡き乙女  
304 ベン・ドラードの歌唱→乙女らのビッグ・ベン  
305 捕まりそうになるヘンリー・フラワーと去るヴィラーグ  
306 K・十一再び  
306 いまはすべてが失われ＝第11挿話での失われたモリー  
307 スティーブン：神職を追い出されたのね

- 308 枢機卿の息子スティーブン
- 312 出口の男の声。あいつ=ボイランだったら
- 313 何人も去れ

⑤ベラコーエンに罵られるブルームと罪の告白

- 315 コーエンの登場
- 315 コーエンの持つ扇→彼女の台詞を代弁
- 316 奥さんがご主人なのね
- 316 あたしを忘れたの？
- 317 夢に見たのは彼女で私なの、あたしらはまえにもあったのさ→扇の誘惑？
- 318 ブルーム：どんなにお前に支配されたいか
- 319 お守りを手放すんじゃないかった。夕暮れ時に岩の上でさらけ出して、年甲斐もなくバカな真似を
- 320 靴店の店員になるのが若き日の夢→蹄→紐を締めるブルーム→違う箇所にホックを止めた頃ボイランとモリーは出会った
- 322 ベラ→ベロー：美しい人、女王様
- 323 姦通女の尻を崇めるやつめ→モリーの尻をおっかけて
- 323 四つん這いになれ→キャンキャン吠えるブルーム
- 323 トリュフよ→豚野郎
- 324 サディストのベローとマゾのブルーム
- 326 ミスター・ベロー、女将旦那さん
- 327 ベラに調教されるブルーム
- 329 ベラの調教に加勢するゾーイ、フロリー、キティ、料理女ミセス・キョー
- 331 みんなでブルームの上に馬乗りになる
- 333 ベロー：おまえの望みになったんだ。お前は男じゃないぞ。俺のもの
- 334 昔モリーの服を借り女装したことを語るブルーム=昔ブルームは夫妻は服貸しの仕事をしていた
- 335 ミセス・ミリアム・ダンドレイド  
→高級娼婦=ミリアムを男というブルーム  
ミリアム9.43に登場した妻
- 336 高校のあべこべ劇で女装したブルーム
- 337 昔犯した罪達がブルームを責める。何百という罪達
- 338 ドリアー通りのミス・ダンに口にしがたいことを心の中で伝えた→第10挿話の電話を受け取るミス・ダン
- 339 ブルーブームがポールディ・コックが・・・→ユリシーズの回想



- 339 猥談を言うことを強要されるブルーム
- 342 競売にかけられるブルーム
- 343 一シリング八ペンスは多すぎる、生娘に違いない＝ルーベンJ 8.374
- 344 純良の繁殖種、ミルク→牛になるブルーム
- 344 カリフが落としたぞ。ハールン・アル・ラシードだ→ステューブンの夢
- 345 お前みたいな**不能野郎**がなんの役に立つ？→ブルームが不能であることの暴露
- 346 エクルズ通りで
- 347 こんな酷い仕打ちを。モル→モリー
- 347 眠りの谷に寝そべって21年
- 348 お前の娘＝ミリーだよ。マリンガーの学生と一緒にいる→ブルームが知らないはずの**情報**
- 348 マット・ディロン
- 349 カッコウの休憩所＝寝取られ
- 351 2番目にいいベッドをしつらえた  
→ほかのやつらが寝なきゃならない＝寝取られ願望
- 352 罪を犯し地獄に落ちるブルーム。
- 353 生贄ブルーム
- 354 死んだブルームと未亡人
- 355 ニンフ＝花嫁
- 357 ニンフの写真を寝室に飾るブルーム
- 357 眠りは人の1番悪い面を曝け出す→悪夢
- 359 ジブラルタルから持ってきたもの
- 360 ブルームが遠足で訪れたイチイの木とその木陰
- 362 高校生ブルーム→16才＝21年前
- 363 静かな木陰を汚す→ブルームは木陰で自慰をしたか？
- 364 彼女が捻れた気を登る→下着の覗き見か＝第13挿話
- 365 よちよち仔牛＝牛は女の象徴なのでこの場合は女の子を覗き見
- 365 ブルーム：僕は生理的欲求を満たしただけだ
- 367 終わりと共に鳴る放屁
- 370 暖かい刻印
- 372 ズロースのピンがない。ずり落ちる
- 374 16年も奴隷→結婚してからの日々？
- 374 発情している。玉ねぎ。腐りかけ
- 376 サウルの葬送行進曲

377 ジャがいもを返してくれないか。ママの形見なんだ→幻想を振り払う

⑥ブルームの覗きとシェイクスピアを通じて交わるブルームとステイーブン

379 金貨を払うステイーブン

380 女の子3人、1人10シリング

381 泊まり？ショートタイム？

382 十一時を打った。彼女の哀れな魂が

383 一ポンド紙幣を取り上げ半ソヴリン金貨を置くブルーム

→これで辻褄があうよね

→ステイーブンに一ポンド紙幣を返すブルーム

385 気前の良さより公正さがさき

→我々は気前のいい民族だが公正でもなけりゃならない2.82

385 ブルームによるお金の計算

=彼はシラフである

=神様だってあいつを酔っ払わせることはできないさ8.435

385 自分の婆さんを埋めてるのさ

386 マッチの火

387 ステイーブンは昨日そして16年前に眼鏡を壊す

387 真夜中に二つの背中ができる獣→背中の二つある獣7.344

388 食べなきゃ、忌々しい犬めに出くわしたもんだなら。彼、おなかすかしてるの？

→ブルームは前半で買った肉をステイーブンに食べさせようとした

=第14挿話でステイーブンはあまり食事をしていない

390 革帯鞭の体罰→ドーラン、眼鏡を壊したと

390 コンミー校長

391 僕には神の筆跡が読みきれなかった

393 ブルームの指→小指が短い→雌鶏の尻に敷かれる

394 22年前に事故で落ちたブルーム

394 ステイーブンの16年前=ブルームと同じ22歳→大いなる歴史

395 ドゥースとケネディが貸し馬車を見つめる

→ボーイが茶化す=第11挿話前半のパロディ=プレゼンスがやってくる

396 ボイランとレネハンの会話=同じくオーランドバーのやり取り

397 馬車から降りモリーの使用人ブルームに話しかけるボイラン

→マリアンは起きてるかい？

→案内してくれ、モリーとボイランの出会い4.172

- 399 モリー：ラウール  
=ボイランこっちに来てラウール  
→罪の甘い歓びの主人公  
=ブルームがモリーに渡そうとした猥本
- 400 ボイラン→ブルーム：彼女とやるから覗いてもいいぜ=寝取られ願望
- 400 2人ばかり連れてきて良い？→マイナとリディア
- 403 自然に向かって掲げた鏡
- 403 ブルーム、スティーブンともに鏡の中にシェイクスピアの顔を見る=一体化  
髭のない=ブルームもスティーブンもヒゲを生やしていない？
- 404 二度結婚、一度やもめ→未亡人・ミセス・ディグナム
- 405 ミセス・ディグナムと子供達
- 405 シェイクスピア→初めの夫を殺さなきゃ2度目の結婚はできない
- 406 シェイクスピアの髭なし顔がヒゲを生やしたカニンガム
- 406 ミセス・カニンガム=私はアジアの宝石よ
- 406 女王たちは優良牡牛と寝た→第14挿話にかけ政治と宗教の交わり→2人の主人
- 406 パシファエ→ミノスの妃→ミノタウロス=半陣半獣
- 406 角に変わる
- 409 オムレット
- 410 スティーブンのウォーターメロンの夢9.95
- 411 逆夢、サーペンタイン通り→第3挿話
- 412 僕は飛んだ→イカロス、父よ→サイモン
- 413 ビーグル犬の吠え声
- 415 オレンジ会→プロテスタント
- 416 グリーン党员→カトリック
- 416 カー、コンプトン、シシーの登場
- 417 ヨークシャー好み→ゾーイ
- 418 ゾーイのワルツのピアノに合わせたダンス：グッドウィン教授、マギニ教授  
=ダンス専門家→8.378、10.102、10.138
- 421 スティーブンとゾーイのダンス
- 422 朝と昼の時間達がワルツをおどる
- 423 四組→朝、昼、夕、夜の時間たち、現実にはスティーブン、ブルーム、リンチとフロリー、キティ、ゾーイ、ベラの7人だが
- 426 踊る

⑦シャンデリアを割るスティーブン

- 428 お前の母さんの身内ときたらな→リチャー・グルーディングを指す
- 429 スティーブンの1日の回想＝一本足の水兵、棺の中のコーニー、ネルソンの片柄、プラムの汁をこぼした女2人  
→第10挿話の登場人物はスティーブンは知らない＝読者に向けられている
- 430 スティーブンの母親→花嫁のヴェール
- 431 マリガン：ひでえ死に様して＝第一挿話でスティーブンを傷つける。スコーンを手にする→第10挿話
- 431 母親＝昔は美人のメイ・グルーディング
- 431 キツネザルの悪霊
- 432 犬のキンチが牝犬の母親を殺した時  
→スティーブンは祈らないことにより酷い死に方  
＝尊厳がなく動物＝犬のように母親は死んだ
- 432 誰でも通らなきゃならない、男より女が多い
- 432 癌のせいだ。僕のせいじゃない。運命だ。
- 432 緑色の胆汁→母親の死ぬシーン 1.22
- 433 あの言葉を教えてよ母さん  
→秘密の言葉1.32→誰もが知っているあの言葉1.128
- 433 悔い改めなさいスティーブン
- 434 この人真っ青よ＝現実のスティーブン
- 434 地獄の炎→煉獄
- 435 生首と血だらけの骨＝第8挿話のブルームの台詞をスティーブンは言う
- 435 緑色の蟹＝癌の象徴
- 436 死んでもなおスティーブンの為に祈る母
- 437 ゴルゴタの丘→イエスの磔の地＝イエスにスティーブンへの憐れみを願う
- 437 シャンデリアを打ち砕く、ノートゥングだ  
→ワーグナーの詩におけるジークムント  
トネリコの杖＝ノートゥング＝ジークムントの剣、  
ジークフリートはジークムントの息子  
＝ノートゥングは父の形見→父の剣で母の亡霊を退ける
- 437 シャンデリアの青白い炎が燃え上がる
- 438 脱走
- 440 安淫売宿じゃない。10シリングの店
- 442 お屋敷にはブルドック
- 442 スティーブンは副学長の甥というブルーム
- 442 ベラの息子はオックスフォードに

442 ブルームは1シリングおき出て行く

⑧逃亡、喧嘩、仲裁、ルーディ

444 ケラハーがむっとり黙り込んだ2人の放蕩男とでてくる→娼家帰りか？

444 ブルームはカリフの頭巾の頭巾を被り

→ハールン・アル・ラシード1.123 。クリームフルーツ

→ステイーブンの夢で彼はハールン・アル・ラシードに導かれてメロンを手にする。

-カリフ=ブルーム=ハールン・アル・ラシードより、ステイーブンはブルームに導かれる。

-ブルームの夢。モリーは赤いスリッパ。トルコ風13.481、トルコ風の衣装をきた大柄の美女、大きな黒い目と黒いつややかな髪=モリー 15.128

→ブルームがステイーブンを導く先はモリーだった

445 ブルームを追う犬と登場人物たちー市民、ギュリーオーエン、名前のない男=第12挿話の語り手？、ミセス・グリーン、デニス・グリーン、浜辺の謎の男  
名前のない男は第12挿話で議論された通り匿名性が特徴

447 ジョージ5世とエドワード7世のせい、悪いのは歴史なんだ

→イギリス兵、カーとコンプトンに対する侮辱

448 娼婦シシー・キャフリー

449 排尿詞的→しょんべんをしていたカーに対する侮辱か

450 シャツは提喻

451 ブルームはステイーブンを争いから遠ざけようとする

452 ステイーブン：俺がやつと話すのはいけないのかい？

452 調停交渉ーこの中では聖職者と国王を殺してしまわなければならない  
→2人の主人への反旗

453 ステイーブンの痛烈な批判への賛辞

454 エドワード7世の登場→ステイーブンらの決闘の立会人

455 君は国のために死ぬ。僕は僕の国を僕のために死なせることを望む。

→国に死んでもらいたいわけではなく死などくそくらえ

456 エドワード7世=おどけイエス

456 緑色の目の怪物→3.115七つの大罪嫉妬の怪物

457 牝牛に緑の布=宗教を纏うアイルランド

458 パトリス・イーガン→第3挿話、3.117ケヴィン・イーガンの息子

459 緑は赤より上なのだ→アイルランドのイギリス兵に対する優位性

459 赤だって緑に負けない

- 460 市民、クロッピーボーイ、理髪師ランボード→アイルランドの英雄達
- 461 息耐えるクロッピー・ボーイ→吊るされた死体は勃起→第12挿話
- 463 誰かこういう必要悪に
- 464 歯なし老婆→アイルランド独立を促す
- 464 ハムレットよ復讐せよ＝アイルランド→イギリスが復讐するハムレット
- 464 ハットトリックだよ＝挿話前半、聖三位一体＝精霊はどこ？
- 465 コンプトン：奴はポーア人鼯鼠＝反イギリス→ポーア人がんばれ8.400
- 466 我々＝アイルランド人は南アフリカでイギリスのために戦ったんだ
- 467 トウィーディ少佐対『市民』＝イギリス対アイルランド  
→『市民』＝スティーブンに
- 468 ギャリーオーエンとイギリス国歌
- 468 聖ジョージの騎士＝イギリスの守護者
- 469 シシー・キャフリー、民族や年齢の違いを結びつける絆、女よ聖なる根源よ
- 470 ダブリンが燃える→煉獄
- 472 我悪魔の祭壇にいかん
- 473 若き日々＝罪深き日々を喜ぶ悪魔の元へ
- 473 ヘインズ一尻に人参が刺さる＝同性愛
- 474 オレンジ会派、グリーン黨員
- 475 レトリーヴァー犬が吠える
- 475 リンチはスティーブンを見捨てる
- 475 弁証法がスティーブンは好きなんだ
- 475 ユダ＝裏切り者は去れり
- 475 レトリーヴァー犬が
- 476 ステッキはいらない、純粹理性のこの饗宴だ  
→もう亡霊は取り払った。杖は朝から持ちスティーブンの亡霊から身体を支える  
アイテムでもあった。理性が亡霊を振り払う
- 476 朝の八時三十五分＝ミルク売り老婆
- 476 シシー・キャフリー→こいつはあたしを侮辱した
- 478 兵隊を殴った彼は教授
- 479 レトリーヴァー犬
- 479 コンプトン：ずらかろうぜ
- 479 雨外套を羽織った巡查2人
- 479 この御婦人＝シシー・キャフリーといたらスティーブンが侮辱してきた
- 481 ベネットが営倉にぶち込むぜ
- 483 ケラハーと巡查部長は知り合いか？→ケラハーは警察に顔がきく

- 488 ヴィラークを訪ねるブルーム
- 489 2人連れのセールスマンをコーエンの娼家にするケラハー
- 489 キャブラ＝ディーダラス家の所在地
- 489 サンディコーヴじゃあな
- 491 動けるようになるまでスティーブンを寝かしとくさ
- 492 トゥーラルーム。語尾にルーム
- 492 誰？黒豹、吸血鬼？→亡霊に怯えるスティーブン  
→吸血鬼。サンティマウント海岸で創作した詩7.326
- 493 詞か。教養もあるのに。
- 494 遠くで犬が吠える
- 494 彼を見ると死んだ母親を思い出す
- 494 ゆっくりと人影が現れる。11歳の妖精の少年、取り替え子、イートン校
- 495 ルーディ＝スティーブン  
ブルームはサイモンから彼の息子スティーブンの事を聞いた際ルーディのことを  
想う6.222